

各委員会・分科会への当面の依頼事項

令和 3 年 11 月 22 日

1. 周知・協力依頼

国連総会での正式決定後（11 月末？）

①各委員会、分科会に所属する会員、連携会員に対する周知

会員、連携会員へは一斉メール等で周知を行う予定だが、各委員会・分科会の会議の場においても、IYBSSD2022 を議題として取り上げていただきたい。

②協力学術協力団体への周知・協力依頼

協力学術協力団体へは一斉メール等で周知を行う予定だが、各委員会・分科会のメンバーが協力学術協力団体の会合に参加される際には、IYBSSD2022 の紹介を積極的に行っていただきたい。

また、各協力学術協力団体における IYBSSD2022 関連行事の実施を積極的に働きかけていただきたい。

2. 学術フォーラムへの協力

日本学術会議としては、IYBSSD2022 の中で学術フォーラムを 3 回程度開催する予定（オープニング、中間期、クロージング）。具体的内容については、まず、連絡会議のコアメンバーで検討を行うが、扱うべきテーマの提案、講演者の推薦等を含め、各委員会・分科会にもご協力をお願いしたい。

3. シンポジウム等の実施

原則的に IYBSSD2022 期間中に関連するシンポジウムを最低 1 回は開催（複数の分科会による合同開催も可）していただくことをお願いしたい。また、シンポジウムの概要を事前に連絡会議のコアメンバーにご登録いただきたい。

4. ホームページへの協力

日本学術会議の HP の中に IYBSSD の特設ページを開設する予定。各委員会、分科会への掲載するコンテンツの提供をお願いしたい。

上記のシンポジウム関連情報に加え、関係する協力学術協力団体が実施する IYBSSD2022 関連行事についても積極的に情報提供をお願いしたい。

以上